

## 感動！～あきらめない心～

今年は、大変暑い夏でした。猛暑日が続いたことだけでなく、8月5日から21日までリオデジャネイロオリンピックで熱い戦いが繰り広げられた夏でした。

リオデジャネイロと日本の時差が12時間あるため、中継を見ることが難しい種目もたくさんありましたが、大人も子どもも夢中になって応援した17日間だったのではないかでしょうか。私も、テレビを通して様々な種目を観戦しました。毎日毎日頭が熱くなるような感動的な場面の連続でした。また、試合後のインタビューでも、心に残る言葉をたくさん聞くことができました。

今回のオリンピックを見ていて印象に残ったのは、あきらめずに最後まで粘り強く競技や演技に挑む選手たちの姿でした。応援しているこちらの方が、「もう無理だ…」と思ってしまった試合で、見事に逆転勝利するという光景が何度も見られました。また、望む結果にならなくても、全力を出し切りライバルを称えた選手もいました。本当に素晴らしい姿でした。この勝利に向かって突き進むエネルギーや内面から湧き出てきている勝つことへの強い執着は、日々の練習の積み重ねによって生まれてきたものだと思いました。毎日の弛まない練習が「やればできる」という自信を確信へと高め、自分を信じて最後まであきらめずに粘り強く挑む姿勢を作り上げたのだと思いました。

また、インタビューの中で選手たちはこれまで支えてくれた人々への感謝の言葉を述べていました。苦しい戦いの中で、これまで支えてくれた人々の熱い声援も脳裏によみがえっていたことでしょう。

オリンピックという舞台は4年に一度という特別な場ですが、選手たちの姿は私たちの生活とはかけ離れたものではないと思います。目標をもってあきらめずに最後まで努力することで、達成できることや克服できることは私たちの身近にもたくさんあります。選手たちの姿を見て、もう一度自分の生き方を見直してみたいという思いをもつとともに、生きる勇気をもらった17日間でした。

9月7日からは、リオデジャネイロパラリンピックが始まります。再び、スポーツの素晴らしさ、そして人間の素晴らしさを感じる場面にたくさん出会えることを期待しています。

校長 今村 ひろみ